

令和7年度（2025年度）

管理事業名	地域・青少年教育事業				総合計画 の体系	大綱 4 子育て・学び				
						政策 3 青少年がすこやかに育つまちづくり				
						施策 1 青少年の健全育成				
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	10	教育費	(項)	5	社会教育費	(目)	2	青少年教育費
部局名	地域教育部	予算執行 所属	まなびの支援課、青少年室							
事業の目的と概要										
【目的】 青少年を対象に、地域での見守りや指導を行うとともに、青少年の仲間づくりや主体的な活動を支援し、豊かな人間性や社会性を育む。										
【概要】 青少年に向けた多様な体験活動や学習の場、仲間づくりの場の提供を通して、その健やかな成長を支える。また、見守り活動等を支える地域ボランティアの養成に取り組む。										

I 成果指標（活動指標）

指 標 名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	指 標 の 定 義
さわやか元気キャンプ参加者数	人	97	123	105	さわやか元気キャンプの参加者数
青少年指導者講習会参加者数	人	161	294	243	青少年指導者講習会の参加者数
こども110番見まもり活動の消耗品支給小学校区数	校区	25	31	28	こども110番見まもり活動に係る消耗品を支給した小学校区数

II 活動実績・成果

※指標「さわやか元気キャンプ参加者数」の令和5年度実績を修正 【成果指標1】 さわやか元気キャンプ参加者数についての評価 ・参加者数105人（前年度比：18人の減） ・不登校傾向にある子供たちを対象に、雪山遊びなどの自然体験活動等を通じて楽しく人との関わりを持ち、社会的自立を目指す活動を実施した。また合わせて、課題を抱える子供たちに寄り添いながら支援するボランティアスタッフの育成を行った。なお、当キャンプの参加経験のある大学生等がスタッフとして参加するケースが増えている。 【成果指標2】 青少年指導者講習会参加者数についての評価 ・参加者数243人（前年度比：51人の減） ・「不登校の現状とその対応」「発達症を知ろう」「安心・安全なインターネットSNS利活用」など、現在の青少年を取り巻く課題をテーマとして、啓発と情報共有を行い、指導者の育成に取り組んだ。 参加者数は昨年度から減少したが、オンライン受講やアーカイブ配信など、多様な受講方法を取り入れながら指導者の育成を進めている。 【成果指標3】 こども110番見まもり活動の消耗品支給小学校区数についての評価 ・支給校28校（前年度比：3校の減） 令和7年度は、小学校区35校区のうち、28校区に支給した。在庫等の関係で消耗品支給の希望をしない校区があるため、微減となった。	【青少年育成事業】 民法改正に伴い、令和4年度から「成人祭」を「二十歳を祝う式典」に名称変更した。令和2年度から、市立吹田サッカースタジアムで開催しており、令和7年度は2,900名が参加した。親族も対象者1名につき2名まで参加可能とし、1,400名の親族も参加した。また、会場に来られない参加者等のためにライブ配信、アーカイブ配信も行った。 学校のクラブや地域で音楽活動を行うグループの発表と交流の場を提供する「吹田青少年さつき音楽祭」、青少年によるバンド、ダンスの披露の場を提供する「ヤングフェスティバル」をそれぞれ開催した。 【青少年指導事業】 地区青少年健全育成事業としては、「地区青少年健全育成事業補助金」を各地区青少年対策委員会に交付し、土曜日の学校開放や様々な体験活動を提供する行事を実施した。 7月、11月には、国の「青少年の被害・非行防止全国強調月間」や「子供・若者育成支援推進強調月間」に協賛し、吹田警察署、青少年対策委員会、青少年指導員会などが連携して「全市一斉合同パトロール」を実施した。
--	---

III 課題と今後の取組

「さわやか元気キャンプ」 については、事業実施後、参加者が学校に登校できるようになったという事例もあり、ニーズと意義はあるものとする。今後、参加者がスタッフとなり、つながりを継続できるような機会を提供する。 「青少年指導者講習会」 については、引き続き、地域の幅広い世代、分野の方々の協力を得られるよう講習会を開催するとともに、より多くの方が興味を持ち、更に受講者が増えるような講習テーマ作りや、参加しやすい時間帯の検討が必要である。	「吹田市・若狭町リーダー交歓会」 については、近年、両市町とも参加者やスタッフが集まらない状況などが続き、事業の実施に苦慮していたため、本市と若狭町の合意に基づき、令和7年度の開催をもって廃止とした。 こども110番見まもり活動 については、消耗品を各小学校区18,000円以内で支給することにより、活動の継続と充実を支援している。子供の安全確保に寄与するため、今後も活動の支援を継続する。
--	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和6年度末 A	令和7年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和6年度末 A	令和7年度末 B	差額 B-A
流動資産				流動負債	7,699	8,163	464
現金預金	-	-	-	地方債	-	-	-
未収金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	7,699	8,163	464
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
固定資産				固定負債	62,853	71,666	8,813
事業用資産				地方債	-	-	-
有形固定資産	0	0	-	長期借入金	-	-	-
土地	-	-	-	退職手当引当金	62,853	71,666	8,813
建物・工作物	0	0	-	リース債務	-	-	-
リース資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	負債の部合計	70,552	79,829	9,277
無形固定資産	-	-	-	純資産	△68,622	△77,899	△9,277
インフラ資産							
有形固定資産	-	-	-				
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	1,800	1,800	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	130	130	-				
出資金	130	130	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	1,930	1,930	-	純資産の部合計	△68,622	△77,899	△9,277
				負債及び純資産の部合計	1,930	1,930	-

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金（経常費用充当）	301	327	292	△35
府支出金（経常費用充当）	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	94	84	566	482
経常収入 小計 (a)	395	411	858	447
経常費用				
給与関係費	108,862	115,865	128,960	13,095
物件費	13,616	13,609	13,523	△85
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	25	18	△7
負担金・補助金・交付金等	17,096	16,675	16,921	246
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	6,896	7,699	8,163	464
退職手当引当金繰入額	6,661	6,298	11,688	5,390
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計 (b)	153,131	160,170	179,273	19,102
経常収支差額 (a)-(b)=(c)	△152,736	△159,759	△178,415	△18,655
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計 (d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 小計 (e)	-	-	-	-
特別収支差額 (d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額 (g)	-	-	-	-
当期収支差額 (c)+(f)+(g)	△152,736	△159,759	△178,415	△18,655
一般財源充当額	148,574	157,773	169,138	11,365
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△4,162	△1,987	△9,277	△7,290

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	395	411	858	447
行政サービス活動支出	148,969	158,184	169,996	11,812
行政サービス活動収支差額	△148,574	△157,773	△169,138	△11,365
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△148,574	△157,773	△169,138	△11,365
一般財源充当額	148,574	157,773	169,138	11,365
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【BS】重要物品	絵画「博多湾の春」1点（寄贈による受入れ）
【PL】給与関係費	人事院勧告に準じた条例改正による給与額引上げ等による増

単位当たりのコスト分析（「経常費用 小計(b)」÷「実績」）

単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
青少年1人	コスト 1,359 円 実績 112,696 円	コスト 1,415 円 実績 113,209 円	コスト 1,577 円 実績 113,708 円

分析内容	令和8年3月31日現在の吹田市人口で算出すると、青少年（0～29歳）1人当たりのコストは、給与関係費の増加等により162円増加した。
------	--

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	107,779	2,308	10.76
会計年度任用等	31,780		
特別職非常勤	9,251		
合計	148,810		

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和5年度	令和6年度 A	令和7年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		100.0	100.0	100.0	0.0
施設維持補修費比率		-	-	-	-
経常費用対公共資産比率		8507.3	8898.4	9959.6	1061.2
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		-	-	-	-
一般財源充当比率		99.7	99.7	99.5	△0.2